

指宿市 山川町

未来をつなぐ「循環」体験！ 「海のゆりかご」再生プロジェクト

気候変動対策（ブルーカーボン）と地域経済（漁業）のつながりを、
身体と五感で学ぶSDGs・探究学習プログラム



海のゆりかご（自然の仕組み）

「海のゆりかご」とは、海藻や藻場、干潟など、魚や多くの生き物が生まれ育つ場所を指します。これらは海の生態系を支える重要な役割を持っています。海のゆりかごが失われると、生き物が減り、海の豊かさが保てなくなってしまいます。

山川町漁業協同組合の取組

アマモは海水中の二酸化炭素を吸収し、光合成で酸素を供給することで、海の環境問題の改善に寄与します。鹿児島県指宿市山川町漁業協同組合は、ブルーカーボンプロジェクトとして苗の育成と藻場の造成に取り組み、持続可能な漁業と魚がこれからも食卓へ届く未来を守っています。



地域とのつながり（経済・文化）

鹿児島の海は、漁業や食文化、観光など地域の経済と深く結びついています。海の恵みは人々の仕事や暮らしを支え、長い時間をかけて地域文化を育んできました。海の環境を守ることは、自然だけでなく、地域の未来や生活を守ることに繋がります。

指宿市 山川町

夕ビマエ



未来をつなぐ「循環」体験！「海のゆりかご」再生プロジェクト

気候変動対策（ブルーカーボン）と地域経済（漁業）のつながりを、
身体と五感で学ぶSDGs・探究学習プログラム

問い① アマモの役割を知ろう！

アマモは海の生態系にとって、どんな役割を果たしているのでしょうか？

問い② アマモと人間の関係について知ろう！

アマモが減少している主な原因は何で、その原因はどのように人間の活動と関係しているのでしょうか？

問い③ アマモが及ぼす私たちの暮らしについて考えよう！

アマモ場が失われたら、海の環境や沿岸の暮らしにどんな影響がでるのでしょうか？具体的に記載しましょう。



未来をつなぐ「循環」体験！「海のゆりかご」再生プロジェクト

気候変動対策（ブルーカーボン）と地域経済（漁業）のつながりを、
身体と五感で学ぶSDGs・探究学習プログラム

1

SUPに乗って海を観察したり、アマモの種まきや移植を体験したりする中で、あなたは山川の海の美しさや恵み、そして直面している環境課題について、どのようなことを感じ、考えましたか？体験を通して得られた気づきを具体的に述べてください。

2

漁師さんとの対話や、魚料理を味わう日常を通して、あなたは「海の環境保全」と「私たちの食生活」がどのように深く結びついていると感じましたか？「命のつながり」を実感したエピソードを交えて、あなたの考えを教えてください。

3

山川町漁業協同組合がアマモ再生プロジェクトに協力する理由を、環境保護の視点だけでなく、「経済的な視点」からも考察してください。環境保護活動は、地域にとってどのような「投資」になり得ると考えますか？

指宿市 山川町

タビ아트 

未来をつなぐ「循環」体験！「海のゆりかご」再生プロジェクト

気候変動対策（ブルーカーボン）と地域経済（漁業）のつながりを、
身体と五感で学ぶSDGs・探究学習プログラム

- 1 保全活動について知ろう！
日本・世界での取り組みを調べてみましょう。

- 2 10年後も魚を美味しく食べるために
私たちが日常生活でできることを3つ提案してみましょう。